

笑顔！笑顔！笑顔！



みどりの学校『やる木』『げん木』『こん木』 古賀小学校は創立150周年を迎えます！

令和7年 6月 17日 長崎市立古賀小学校学校だより R706号 校長 桑原 重久

「古賀っ子の心を見つめる教育週間」 校長講話

6月16日（月）は、「古賀っ子の心を見つめる教育週間」の初日でした。

朝の活動でオンライン全校朝会を行い、教育週間の意義について、次のような話をしました。

…だれにでもある大切ないのち。もう一度その大切さに気付いて、これからの生活を送り「いのちのバトン」を大切にしてほしいと思います。

これは、3年生の道徳でも学習している「ぬちぬぐすうじ」という絵本です。この中にも、同じことが紹介されています。3年生以上のみなさんは知っていますね？

ところで、みなさん、この言葉を知っていますか？ ※「命名」を提示「めいめい」と読みます。新しく生まれてきた赤ちゃんに名前をつけることですね。よく見てください。名前の字の前に、「命」の文字があります。私たちの国、日本では、名前とは、新しく生まれてきた かけがえのない「いのち」の名前だと考えてきました。命に名前を付けると考えるのは、世界中でもこの、日本だけです。

…(中略)…あなたの名前は、「あなたが生まれる前から、幸せになってほしい、健康であってほしい、誰からも愛されるように育ててほしい」など、家族の願いが込められた大切な名前であること。そして、大切に大切に家族に育てられて、ここまで成長してきた皆さんは、本当に一人一人が大切な存在です。

そのような大切な人たちが集まっている古賀小は、みんなが毎日笑顔で過ごすことができる、もっともっと「幸福な古賀小学校、笑顔いっぱいの古賀小学校」にすることができます。そうあってほしいし、皆さんならできる！

最後に、毎日学校生活の決まりや約束事は、一人一人の安心を守る大切なものです！この機会にぜひ見つめなおしてみてください。

防災教室・八郎川慰霊の灯 灯籠づくり（6年生）



6年生は全員で災害から自分の命を守るために大切なことを学びました。その後は、今年の「八郎川慰霊の灯」に捧げる灯籠作りを行いました。